

五 次の漢文を読んで、後の設問に答えなさい。ただし、設問との関連で、返り点・送り仮名の一部を省略してあるので注意しなさい。

楚、莊王賜群臣酒。日暮酒酣、燈燭滅、乃有引美人之衣者。美人援絕其冠纓、告王曰、今者燭滅、有引妾衣者、妾援得其冠纓、持之。趣火來上、視絕纓者。王曰、賜人酒、使醉失禮、奈何。欲顯婦人之節而辱士乎。乃命左右曰、今日与寡人飲、不絕冠纓者不懼。群臣百有余人、皆絕去其冠纓。而上火、卒盡懼而罷。居二年、晉与楚戰。有一臣常在前、五合五獲首、却敵、卒得勝之。莊王怪而問曰、寡人德薄、又未嘗異子、子何故出死。不疑如是。对曰、臣当死、往者醉失礼、王隱忍不暴而誅也。臣終不敢以蔭蔽之德而不顯報王甲也。常願肝腦塗地、用頸

血<sup>ラ</sup>湔<sup>セ</sup>ガント<sup>ト</sup> 敵<sup>ニ</sup>久<sup>シ</sup>矣。臣<sup>チ</sup>乃<sup>チ</sup>夜<sup>ニ</sup> A 者<sup>ト</sup>也。遂<sup>ニ</sup>斥<sup>シ</sup>晋<sup>ノ</sup>軍<sup>ヲ</sup>、楚<sup>タリ</sup>得<sup>テ</sup>以<sup>テ</sup>強<sup>キ</sup>。此<sup>レ</sup>有<sup>ル</sup> B

德<sup>ハ</sup>者<sup>ニ</sup>、必<sup>ズ</sup>有<sup>ル</sup> C 報<sup>ニ</sup>也。

《注》

○燈燭 ともしび。○美人 側室。○冠纓 冠<sup>かんむり</sup>のひも。○權 よろこぶ。また、よろこび。○合 合戦する。  
○蔭蔽 おおいかくす。目立たぬようにする。○頸血 首の血。○出典は、『説苑』復恩。

(設問)

(以下の設問 A 65 ~ A 73 の解答は A 解答紙の 65 ~ 73 の欄に記入すること)

A 65 — 線部①「有引妾衣者」を訓読する際に施す返り点として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

- ア 有<sup>レ</sup>引<sup>レ</sup>妾<sup>一</sup>衣<sup>者</sup>
- イ 有<sup>レ</sup>引<sup>レ</sup>妾<sup>一</sup>衣<sup>一</sup>者
- ウ 有<sup>二</sup>引<sup>レ</sup>妾<sup>一</sup>衣<sup>者</sup>
- エ 有<sup>一</sup>引<sup>レ</sup>妾<sup>一</sup>衣<sup>一</sup>者<sup>上</sup>

A 66 — 線部②「視絶纓者」(返り点・送り仮名は省いてある)の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

- ア 私がちぎった冠のひもをご覧に入れますよう
- イ 冠のひもがちぎれている者を見失ってしまいました
- ウ 誰の冠のひもがちぎれているかをお調べください
- エ 冠のひもがちぎれている者を見つけたのでございます

A 67 — 線部③「奈何欲顯婦人之節而辱士乎」(返り点・送り仮名は省いてある)の書き下し文として最も適當と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア 奈何ぞ婦人の節を顯はして士を辱めんや(と)

イ 奈何ぞ婦人の節を顯はさんと欲して士を辱めんや(と)

ウ 奈何ぞ欲は婦人の節を顯はして而は士を辱むる(と)

エ 奈何ぞ欲は婦人を顯はして節は士を辱むる(と)

A 68 — 線部④「不絶冠纓者不懼」(返り点のみ施してある)の意味として最も適當と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア もしも冠のひもを断ち切らない者があれば私は不快に思うぞ

イ どうしても冠のひもを断ち切らない者がいるから不快になるのだ

ウ たとえ冠のひもを断ち切らないからといって不快には思わない

エ 仮に冠のひもを断ち切らなければその者が不快に感じるだけだ

A 69 — 線部⑤「寡人德薄、又未嘗異日子」(返り点のみ施してある)の意味として最も適當と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア 私はもともと徳が薄いし、またそなたを特別に扱ったこともない

イ 私はもともと徳が薄いから、これまで臣下に恵まれることもなかった

ウ 経験の少ない者は徳も薄いし、特別な能力を発揮することもない

エ 才能の少ない者は徳も薄いもので、子どもと何ら変わるところがない

A 70 ー線部⑥「往者」のここでの読み方(送り仮名も含む)として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。な

お、この字を含む句の返り点は省いてあります。

ア おもへらく イ さきに ウ そもそも エ なんとすれば

A 71 ー線部⑦「臣終不<sub>ニ</sub>敢<sub>ヘテ</sub>以<sub>テ</sub>蔭蔽<sub>ニ</sub>之<sub>ヲ</sub>而<sub>不</sub>可<sub>レ</sub>顯<sub>シ</sub>報<sub>ヲ</sub>王<sub>也</sub>」の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア 目立たぬように恩徳を施すことは私などにはできませんが、明らかな形で王に報いることならできなくもありません

イ 目立たぬように恩徳を施すことが私にはできない以上、明らかな形で王に報いることも難しいのでございます

ウ 王が人知れず恩徳を施して下さったのですから、私としては明らかな形で恩に報いないわけにはまいりません

エ 王が人知れず恩徳を施して下さったからには、臣下としても目立たぬように恩に報いなければなりません

A 72 A に入る二字として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア 告王 イ 左右 ウ 上火 エ 絶纓

A 73 B・C に入るものの組み合わせとして最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア B 陰 | C 陽

イ B 文 | C 武

ウ B 負 | C 正

エ B 私 | C 公

(以下 余白)